

応援します！ # パートナースhip構築宣言

『夢、まち、人づくり』、地域社会とともに歩む美保テクノス

■ 安心・安全・快適なまちづくりに向けて

『夢、まち、人づくり』をスローガンに掲げ、地域が安心・安全・快適に生活できるまちづくりへの貢献を目指す美保テクノス株式会社。2021年にはSDGs宣言、2024年にはパートナーシップ構築宣言を公表しており、建設業を通じて、「地域のため」の取組をすすめている。



■ 社員・協力会社の健康に向けて

社長の「会社を経営していく上で社員の健康は最重要」という想いから取り組みが始まった健康経営は、2022年3月から継続して認定を受けている。社内に向けた取組として、階段への消費カロリー掲示や、リフレッシュコーナーへの体重計・メジャー等の設置、健康診断の再受診率100%に向けた声かけ等を行っている。

「協力会社も仲間」の考えのもと取組を進めており、熱中症対策として夏場の6月～9月はお水・スポーツドリンクが10円で買える自動販売機を現場に設置して水分補給を促している。無料だと協力会社の方たちが気を遣って自販機を使用してくれなくなってしまうという細やかな気配りもこの会社らしい。

現場に外部講師を招いた熱中症予防、転倒・腰痛予防等の健康セミナーの開催、労災防止や交通安全の観点から発生した事故の概要、原因、対策をまとめたちらしの現場への貼り出しなど、協力会社とともに取り組んでいる。

■ 鳥取県初！ZEB Ready の新社屋

同社の新社屋は2023年8月に完成。「地方ゼネコンならではのチャレンジ」として、事務所建築として鳥取県初のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）社屋に挑戦した。設計にあたっては、同社が2004年から取り組む「BIM（ビルディング インフォメーション モデリング）」と呼ばれる建築システムを設計に最大限に活用した。通常より多い断熱材の使用、高効率空調機の導入、外部熱を取り入れる日射取得型のローイーガラスの採用などの工夫を施した。また電気だけでなく、一部ガスを熱源とした空調機運用等を行うことで、55%の削減を達成し「ZEB Ready（ゼブレディ）」の認証を受けた。





■BIM を通じた未来の創造

新社屋の会議室やリフレッシュルームは、BIM 活用で連携している大学の学生たちが設計。実際に学生が米子まで来て取締役の前でプレゼンし、フィードバックを重ね完成した。大学生が実際に新社屋の設計に関わることで、若い才能が企業に新しい風を吹き込むと同時に、BIM の実践的なスキルを身につける機会を提供している。

新社屋は BCP にも対応しており、米子市の避難所として協定を結んでいる。屋上に設置された発電機では、停電の際でも 72 時間は対応できるなど、有事の際にも地域の方の「安心・安全・快適」を守っている。

20 年以上のノウハウを活かし、日本の建築業界のレベルアップに貢献することを目指し、未来に向けた挑戦を続けている。



【会社概要】

会社名：美保テクノス株式会社

所在地：鳥取県米子市昭和町 25

パートナーシップ構築宣言日：2024 年 10 月 7 日

■担当者の一押しポイント

「地域中小企業であること」を強みとして活かしている企業だと感じた。地方ゼネコンとして 20 年以上 BIM を活用し実績を残しており、それを強みに大学の研究室と連携し、結果として人材採用等にも繋がっていると伺った。

現場で実際に活用しているからこそ、技術・ノウハウが蓄積され、他の企業と連携したパッケージソフトの開発など、次のステージに繋がっている。

日本建築のさらなるレベルアップにも貢献したいと考えているなど、想いを持った企業だった。

